

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05020160

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 計画期間は、平成27年度～31年度(5か年) 5年ごとに見直し
基本施策	8	子育て・子育ての充実	事業優先度	A		
単位施策	2	「子育て」支援の強化	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)		
事業名	子ども・子育て支援事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	5 保健福祉課		
事業主体	雄武町		関係課	8 保育所 12 教育委員会教育振興課		
事業指標	計画本数、計画対象事業数		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
事業目標	1計画、1事業		関係例規・法令名	有 子ども・子育て支援法		
住民参加 住民協働	有	アンケート調査、子ども・子育て会議委員委嘱	関係個別計画名	無		

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
全体計画 事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	雄武町子ども・子育て支援事業計画に係る計画策定	アンケート調査業務委託	合議制機関設置(策定会議の実施)	計画進行管理	出生への経済的支援 計画進行管理	出生への経済的支援 計画進行管理	
	計画策定後の進行管理	合議制機関設置に係る条例制定	事業計画策定				
	子育て支援事業の実施						
計 画 事 業 費	事業費(千円)	2,650	1,300	450	60	420	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	2,650	1,300	450	60	420		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,692	1,316	193	0	183	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	1,316					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	376	0	193	0	183		
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	子育て支援対策事業費補助金	【評価・実績】	子ども・子育てアンケートの実施 合議制機関設置に係る条例制定	事業計画策定	計画進行管理 出生への経済的支援 計画進行管理	出生への経済的支援 計画進行管理	
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/縮小	※事務事業評価結果 A-継続/拡充	※事務事業評価結果 A-継続/拡充	
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値		1計画	計画進捗率80%	計画進捗率80%	進捗率80%
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	101%	43%	0%	44%	0%
	全体達成率	50%	57%	57%	64%	64%	
	備考欄						

事業名	子ども・子育て支援事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	社会福祉係	中西 厳太

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町内児童及び保護者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	策定委員会開催数、対象者への助成券の交付	
【抱える課題やニーズは】	子育て支援に関わる課題が多くあり、そのニーズを把握し、支援計画を策定・見直しを行う必要がある。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	すべての子どもの健やかな成長を実現するための具体的な指針を定める。	① 子ども・子育て会議の開催	目標年度 目標値	平成28年度 1回
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	家庭、学校、地域、職域、行政各々の子育てにおける役割を明確にすることにより、町内すべての子どもたちが健やかに成長する。	② 対象者への助成券の交付	実績値	1回
			達成度	100.0%
			目標年度 目標値	平成28年度 26名
			実績値	26名
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	子ども・子育て会議の開催	会議を開催し、計画の進行管理について協議を行った。		
	雄武町すくすく赤ちゃん応援助成券の交付	該当者に対し、「雄武町すくすく赤ちゃん応援助成券」を交付し、乳児と同一の世帯に属する保護者に対し支援を実施した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	子ども・子育て支援法に基づく法定計画で、町が具体的に取り組むべき施策を定めるものである。
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	すべての子どもの健やかな成長を実現するための具体的な指針を定めている。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	助成券については多くの利用があり、子育てに対する負担軽減の一助となっている。
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	必要最小限の会議を開催することで効率的な進行管理を行っている。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	助成券については保健係と連携して対象者が漏れることなく交付処理を実施している。
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町のすべての子どもや保護者に関連する計画である。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
会議を開催することによって現状を把握し、計画の進行内容について協議することができたほか、助成券については対象者の利用が多くあり、子育てに対する負担軽減が図られている。		

今後の展開方向
(Action)

継続/拡充		
平成29年度は中間見直しの年であることから、会議等を活用しながら計画及び現行の事業について検証作業を進め改善を図る。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止